

## 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

(自治体DX推進関連)

### 討論要旨 川村つよし議員

総務委員会に付託された本陳情の内容は、国や県に対する意見書の提案はなく、尾張旭市に対する要求だけとなっております。具体的には、「自治体DX推進は、住民の福祉の増進と人権保障のために行ってください。」という項目の中に、小項目①として、「情報システム標準化のもとでも自治体独自の施策を維持・拡充してください。」、小項目②として、「住民の手続きへのフォローや問合せへの対応、従来の申請書類を残すなど住民それぞれの事情に応じたアクセスの保障など、住民のデジタルデバインド（情報格差）への対策を講じてください。」という内容です。ただこれだけです。

この程度の内容なら、反対するのは困難だと私は思いましたが、念のため担当課にも確認をしたところ、①については、情報システム標準化の下でも市が独自に行っている施策については、これまでどおり実施するように進めていくという、この陳情に肯定的なお話でした。

私は、市民の暮らしを支える制度を充実させ、住民サービスを向上させようとするのであれば、可能な範囲で努力することは地方自治体として当然だと考えますが、本陳情に反対される皆さんは、この点はどのようにお考えでしょうか。

②については、デジタルデバインド（情報格差）を解消するために継続的な取組を実施していくとの回答、これも担当課にお聞きした話ですが、申請方法についても、誰一人取り残されないデジタル社会の実現に向けて取り組んでいくという肯定的なお話でした。

ですから、このお話からも分かるように、この陳情に反対するのは、私は困難だと考えております。

所管された総務委員会では、意見も討論もなく不採択となっておりますが、私は反対するのが困難な陳情だと考え、ぜひほかの議員の皆さんの反対理由をお聞きしたいと考え、賛成討論といたします。